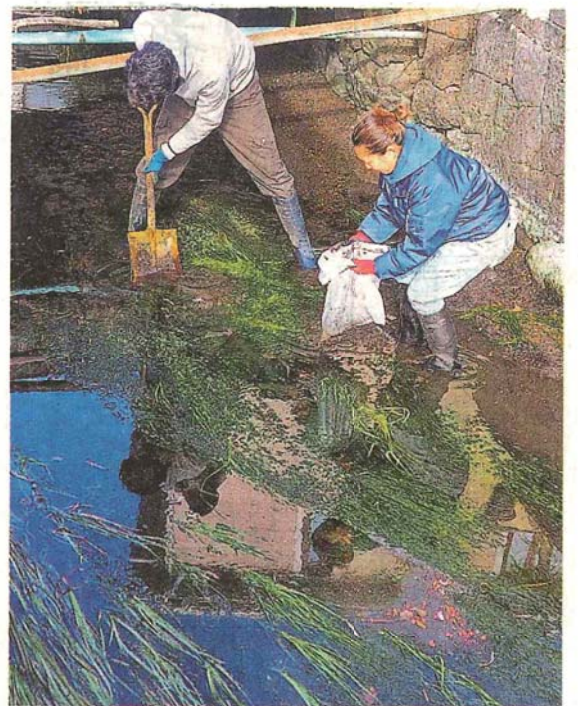


令和5年(2023年)1月12日 (木曜日)



ミシマバイカモを保護するグラウンドワーク
三島のスタッフ＝三島市大宮町の桜川

バイカモ“一時引越し”

GW三島 県工事で保護作業

三島市のNPO法人
グラウンドワーク三島
(GW三島)は11日、
同市大宮町の暗渠(地
下排水溝)を補強する
県の橋の補修工事に伴
い、関係する桜川に植
えたミシマバイカモの
保護作業を行った。

同工事は、県道三島
裾野線と市道の交差点
に位置する川底を板敷
きなどにするために、
一時的に川の水量を減
らす。

GW三島は、県沼津

土木事務所や施工業者
の加和太建設(三島市)
と環境保全の観点で話
し合い、施工方法を検
討した。桜川の約30
0㍍区間に植生する
ミシマバイカモのう
ち、水の枯渇で枯れる
可能性がある部分を取
り除き移植することを
決めた。

11日には、スタッフ
6人が、スコップとバ
ケツで根の部分からす
くって集めた。南本町

の三島梅花藻の里に移

し、工事終了(3月23
日)後に戻すという。
GW三島の渡辺豊博
専務は「ミシマバイカモ
は水がなければ1日で
枯れてしまう。今回は
行政も施工業者も協力
的で、環境に配慮した工
事になった」と話した。